



(一財) 幼児文化芸術協会NEWS

2025年 12月吉日
第37号 発行
一般財団法人幼児文化芸術協会



会員園

栄光八事幼稚園(天白区)
小幡あさひ幼稚園(守山区)
志だみ幼稚園(守山区)
東郷旭丘幼稚園(東郷町)
とみよし幼稚園(愛西市)
名古屋西幼稚園(西区)
鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
日進旭丘幼稚園(日進市)
美里幼稚園(豊田市)

※50音順

映画「国宝」のヒットから

映画「国宝」が実写邦画の興行収入記録を塗り替える空前の大ヒットとなっています。この映画の舞台である歌舞伎は、江戸時代初期から続く日本の代表的な文化であり芸術であります。日本には他にも様々な伝統的な文化芸術がありますし、世界各国においても同様です。

歌舞伎は元々庶民の娯楽として親しまれていたものがルーツで、三昧線の普及につながったり人々のあまりの熱狂振りに幕府から制限を受けたりするなど、様々なドラマをくり広げながら進化してきました。同じように、その他の日本や各國の伝統文化もその始まりや発展を紐解いていくととても面白かったり興味深かったりしますので、映画「国宝」をきっかけに多くの文化芸術により一層関心が高まっていくことに期待しています。

幼児にとって歌舞伎はやや難解かも知れませんが、先にも述べたように日本や各國には多くの文化芸術があります。幼児文化芸術協会といたしましては幼児でも分かりやすく親しめそうなものを選択し、子どもたちに感じやすく響きやすいようにアプローチして、多くの文化芸術に触れる機会を幅広く提供することを意識しています。そしてそれらの経験を通して、子どもたちがいろいろな方面に目を向けられることにつながっていってくれたらと願って止みません。

(小幡あさひ幼稚園 園長) 畠井 邦彰

「弦楽器鑑賞会～ヴァイオリン、チェロ、ピアノ～」 とみよし幼稚園

9月上旬、2学期が始まり落ち着いてきたころに「弦楽器鑑賞会～ヴァイオリン、チェロ、ピアノ」を行いました。ドレス姿の先生が登場しますと、子どもたちから歓声が上がりました。早速演奏が始まると、ヴァイオリンから流れてくる音は、楽器の大きさから想像できないほどの豊かな音量ときれいな音色で、子どもたちはもちろん、教師たちも思わず笑顔になりました。曲が進むに従い身体を左右にゆする子、前のめりになって見つめる子、中には口を開けたままの子もいました。園児たちだけではありません。軽やかに身体を左右にゆすっている教師たちの表情もとても楽しそうでした。

一通り演奏が終わりますと、ワーッという声とともに拍手が響き渡りました。その後、ヴァイオリンとチェロの楽器紹介です。同じような形の楽器でも、その大きさの差から、チェロをさして「大きい！」と言う子もいました。また、ヴァイオリンは年齢によって様々な大きさがあり、大人用のフルサイズ(4/4)から、3/4、1/2、1/4などの幼児用のものまであることの説明とともに、小さな幼児用のヴァイオリンの紹介もありました。子どもたちからも「ちっちゃい！！」という声があちこちから聞こえました。

また、「ヴァイオリンの弓の糸は何からできているのでしょうか？」というクイズもあり、子どもたちは思いつくまま、いろいろな動物の名前をあげていました。その中には「亀」という答えもあり、とてもほほえましかったです。

参考までに、弓には昔から馬のしっぽの毛が使われているのだそうです。

また、チェロにしても、胴の下に伸びている棒が「エンドピン」という名前であること、そのピンの長さを調整して演奏しやすい高さにすることなどを教えてもらいました。あっという間でしたが、とても心豊かに過ごすことができ、充実したひと時でした。



【第13回】 幼児文化芸術祭

日時：2026年 3月 22日（日）11:10～12:20
場所：愛・地球博記念公園 体育館

プログラム：アルパ演奏 バンド演奏 日本舞踊 バレエ
親子舞踏会 社交ダンス 第九コンサート



「サクソフォンの音に耳を傾けて・・・」

鳴海ヶ丘幼稚園

子どもたちにとって、今年度5回目の「文化芸術プログラム」数日前から、サクソフォンってどんな楽器かな？どんな音色なんだろう？と、クラスの先生やお友だちと想像して、文化芸術プログラムの日を迎みました。大きさや音を、当日目や耳で感じた園児は、輝く瞳でじっと見つめたり、音色を聴いて表情が変化したりと、イメージと本物の楽器を比べて、考えている様子が感じされました。

そして、サクソフォンの音とピアノの音が一緒に響き、曲がはじまるときの動きをじっとみつめました。また、楽器の大きさによって、音の高さや低さを知り、大きな楽器からは「ぞうさん」をイメージしたり、小さな楽器からは「ことり」の鳴く姿を感じたり、子どもたちは、音色から想像力を膨らませていました。これからも、体験したことを、保育に取り入れ、子どもたちの成長にもつなげていきます。



「ベリーダンス～おなかで踊ろう～」

日進旭丘幼稚園

9月8日(月)にベリーダンスを体験させて頂きました。今回初めてベリーダンスに触れるお友だちがほとんどで、「ベリーダンスってなに？」という声が多く聞かれました。

講師のDossa先生からベリーダンスはお腹を使ったダンスなんだよ！と教えてもらうと、「えー、おなか！！」とびっくりしているお友だちや、「だから先生お腹がみえる服着てるんだね」と気付くお友だちもいました。先生から、ベリーダンスがよく踊られているエジプトやトルコのお話を聞かせてもらうと徐々に外国の文化にも興味が出てきたようで、途中沢山質問をしていました。

ベリーダンスについて深く学んだあとは、実際にみんなで踊ってみましょう！Dossa先生の明るく陽気なご指導のもと、みんな音楽に合わせてお腹だけではなく、頭や腰、手や足を使いながらベリーダンスを楽しみました。想像していた以上に難しかったようですが、みんな笑顔で踊っていたのが印象的でした。

最後は先生のダンスをご披露いただき、あまりの美しさにみんな見とれてしまいました。貴重な体験をありがとうございました。

